

## 平成 27 年度 医学部 海外短期留学合同報告会を開催しました

11月11日、長井記念ホール（蔵本キャンパス）にて、「平成 27 年度医学部海外短期留学合同報告会」を開催しました。

本報告会は、海外の学術交流協定校へ留学した医学部の学生が、研究成果を発表するとともに、海外で自ら体験したことを教員や学生に報告することにより、医学部のグローバル化に寄与し、ひいては本学の国際化を促進させることを目的として、平成 23 年度から毎年開催しています。

報告会は、苛原稔医学部長の開会のご挨拶で始まり、テキサス大学ヒューストン・ヘルスサイエンス・センター（米国）、ハノーバー医科大学（ドイツ）、ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学（フィンランド）の順で発表を行いました。

留学先での研究の成果に加えて、チャレンジすることの重要性、留学で得たことや見つかった課題、英語をはじめとする外国語でのコミュニケーションの難しさや大切さ等について貴重な体験が報告されました。また、留学前にしておくべきこととして、コミュニケーション・ツールとしての英語はもとより、医学英語を十分に学習しておくこと、更には、ハノーバー医科大学を目指す学生は、できればドイツ語も勉強しておくことが望ましい等々、具体的なアドバイスがありました。

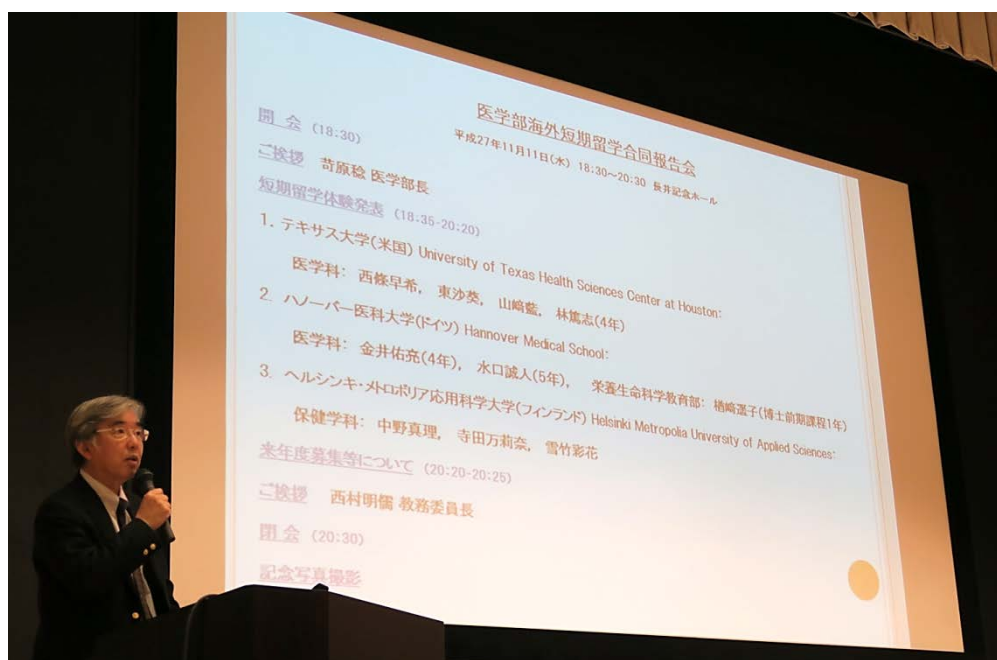
参加した教員や学生は発表者の報告に熱心に耳を傾け、各発表後には活発な質疑応答もされました。最後に、西村明儒教務委員長による閉会のご挨拶があり、報告会を終了しました。

発表者：テキサス大学：西條早希、東 沙葵、山崎 藍、林 篤志（医学科 4 年）

ハノーバー医科大学：金井佑亮（医学科 4 年）、水口誠人（医学科 5 年）

榎崎遥子（栄養生命科学教育部 博士前期課程 1 年）

ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学：中野真理、寺田万莉奈、雪竹彩花（保健学科 2 年）



苛原 医学部長



東さん (テキサス大学)



水口君 (ハノーバー医科大学)



雪竹さん、中野さん、寺田さん (左から)  
(ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学)



質疑応答



発表者を囲んで記念撮影